



## 祝入学

平成29年4月7日(金)  
秋桜館3Fアリーナ



4月7日(金)に秋桜館3Fアリーナで第72回入学式が行われ、本校理数科にも80名(男子24名・女子56名)が入学しました。晴れやかな青空のもと宮一の門をくぐった新入生は担任の先生から一人ひとり名前を呼ばれ、庄子英利校長先生から入学を許可されました。入学者を代表して、理数科6組の生徒が力強く「入学者宣誓」を行い、宮一生として充実した高校生活を送ることを宣誓しました。

週明けの11日(火)には恒例の「対面式・学友会入会式」が行われ、2,3年生の“先輩”と初めて顔を合わせ、宮一生の仲間入りをしました。

1年生の皆さんは宮城一高理数科に入学した誇りと自覚を持ち、自主自律の姿勢を身につけつつ自分の可能性を広げる努力を続けてください。1年後、そして卒業時には「宮一理数科でよかった!」と思えるような充実した高校生活を送ってほしいものです。

2017『ミヤイチ理数科』Ready, GO!



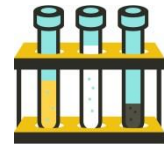
## 1年次理数科オリエンテーション

4月11日(火)、理科講義室において「理数科オリエンテーション」が行われました。短い時間でしたが、理数科に入学した6・7組の生徒80名が集まり、理数科生としての意識と自覚を改めてもつ機会となりました。最初に理数部長の山田先生から「宮一理数科生として、『何事にもチャレンジする気持ち』と『自分からどんどんアクションをおこす姿勢』を持ってほしい」というあいさつがあり、続いて窪田先生から本校理数科の目標、教育課程の特徴、理数科ならではの特色ある行事や企画についての具体的な説明がなされ、理数科に関係する先生方の紹介も行われました。

4月11日(火) 理科講義室

### ~H29理数科スタッフ~

- ◆理数部長：山田 昌弘 先生
- 理数部 ; 窪田 篤人 先生
- 理数部 ; 福地恵理美 先生
- ◇6組担任：澤田 哲也 先生
- 副担任：菅原 健久 先生
- (\*1-6 菅原先生は理数部)
- ◆7組担任：久我 由朋 先生
- 副担任：大宮 亨 先生
- 副担任：島倉 透子 先生



なお、この時間に配布された「理数科ファイル」は講演会や見学会など理数科の学習で使用されるプリントや資料、「理数科通信」などを保管するためのものです。年度末に自分の学習の成果がはっきりとわかるように、資料は丁寧に管理しておきましょう!

## 2年次「課題研究」オリエンテーション

4月18日(火)4校時に今年度第1回目の「課題研究~オリエンテーション」が行われました。3月のガイダンスに始まりそれぞれの研究分野が決定した理数科2年生が集まり、年間計画の説明や担当の先生方のあいさつを聞きました。後半は各分野に分かれ担当の先生と班員が顔を合わせました。年度末にしっかりとした研究発表ができるようチームワークよく進めていきましょう。「H29課題研究」いよいよスタートです!



## ◆佐藤 周 教頭先生より『理数科生徒へのメッセージ』

新しく本校に赴任した佐藤教頭先生から  
理数科生へメッセージをいただきました！

### 「ヒトは豚肉を食べてもなぜ豚にならないのか？」

今年度の4月に本校に赴任しました教頭の佐藤周です。よろしくお願ひします。私は担当が理科（生物）なので、生物の話から始めたいと思います。

標記の問いは、高校ですでに生物を勉強した「ミヤイチ理数科生」2, 3年生にとっては基本的な問いかも知れませんが、新入生にとってはなかなかの難問かと思ひます。2, 3年生も理路整然と新入生に解説、説明できるのでしょうか？ 普段何気なく食している豚肉、豚肉を食べてもなぜヒトは豚にならないのでしょうか？ また、牛肉を食べてもなぜヒトは牛にならないのでしょうか？ 少し考えてみましょう。「そんなこと考えても仕方ない!」、「ヒトだから当然だ!」では「モヤモヤ」感がつり、深みのない人生になり、生活に彩りがなくなってしまう。せつかくの人生です、「モヤモヤ」感をなくし深みのある前向きな生活にしたいものです。科学だけではありませんが、勉強する意味はそこにあるのかと思ひます。少し重く表現すると「真理の追究」でしょうか。

高校時代、「先生、なぜ人は勉強するのでしょうか？」という問いに対して「それは人間の本能だからだよ」と見事に言い切った恩師がいました。今、思うと「真理を追究」するのが人間の本能なのだと言いたかったでしょう。

さて、理数科に入学したみなさん。世の中には知らないこと、知ってはいるけど理論的に（科学的に）説明できないことが多々あります。これから始まる理数科の様々な行事等に積極的に取り組んで「モヤモヤ」感を解消し、真理を追究していく高校生活を過ごしてほしいと願っています。そのような姿勢が将来の人生において大きな糧となるはずです。理数科通信の冒頭にもありましたが、「理数科に入ってよかった」と感じる「ワクワク感」・「ドキドキ感」満載の3年間になることを期待しています。

新入生のみなさん。標記の問いに対して「科学的」に説明できそうですか？

## 募集



- ・対象→高校1・2年生
- ・参加費用→無料
- ・募集人員→100名程度
- ・募集エリア→全国
- ・主な分野：数学・物理・化学・生物・地学
- ・HP：⇒<http://www.ige.tohoku.ac.jp/mirai/>

平成21年度から東北大学が主催しているプロジェクトで、東北大学の理系全学部の先生方が最先端の科学に興味がある高校生に直接指導し、多彩な特別講義・実験・体験を通じて科学を見る眼を育み将来グローバルに活躍できる『科学者の卵』を育成するプログラムです。本校生徒も毎年受講しており、この講座への参加をきっかけにして大学進学を果たした先輩も多くいます。

4月19日（水）昼休みには第1回の説明会を行いました。説明会では、昨年に参加した2年次理数科の熊倉凜奈さん・萩原舞那穂さん・樫聖奈さんも来てくれて自己の体験やこの講座の魅力について熱心に話してくれました。

**【速報！】24日（月）放課後には、東北大学で当講座を担当していらっしゃる生命科学研究所教授・渡辺正夫先生が来校して直接ご説明していただく予定**です。第1回説明に参加できなかった生徒・さらに詳しく説明を聞いてみたい生徒・「自己推薦書」の書き方のコツについて聞きたい生徒はぜひ参加してください。全国から集まるすぐれた受講生とともに質の高い講義を聴いて視野を広げ、自らを大いに成長させることのできる大きなチャンスです。普通科の生徒も含め、どんどんチャレンジしてみよう！

## TOPICS 宮城県「科学人材育成事業」～理数科生徒が台湾で研究発表！

3月26日（日）～30日（木）の5日間の日程で実施された宮城県教育委員会主催「科学人材育成事業」に参加した理数科3年次加藤貴大君・仲上佳希君が、本校とかかわりの深い台南第一高級中学において科学研究発表を行い交流を深めました。

2名は2年次の「課題研究」の成果を英語にまとめ、同行した仙台第三高校の生徒3名とともに質疑応答も含めすべて英語による発表を堂々と行いました。詳しい様子は次号で報告しますが、本校ホームページでも見ることができます。

